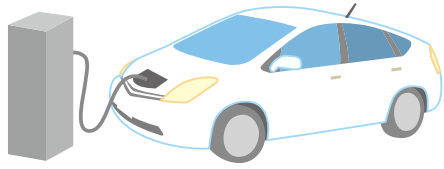


広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

次世代自動車普及拡大に取り組んでいます

田原市は、市民などのクリーンエネルギー利用を積極的に支援し、環境と共生する豊かで持続する地域たはらエコ・ガーデンシティを実現するため、次世代自動車として電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）の導入に対し、補助を行っています。EV・PHV導入の際には市の補助金をご活用ください。



●電気自動車等購入補助金
●対象事業Ⅱ電気自動車またはプラグインハイブリッド自動車の購入
●補助金額Ⅱ車両本体価格の5%とし、限度額10万円

●申請方法Ⅱ新車登録が完了し、支払いが完了した日から起算して30日以内に必要書類を環境政策課に提出



●その他Ⅱ詳しくは、市ホームページをご覧ください。

●電気自動車（EV）とは
電気をエネルギー源とし、モーターを動力源として走行する自動車のこと

●プラグインハイブリッド自動車（PHV）とは
コンセントから直接充電できる機能を持ったハイブリッド自動車のこと

田原市では、環境にやさしい次世代自動車の普及拡大と施設利用者の利便性向上のため、市内3カ所の施設にEV・PHV用普通充電器を整備しましたので、ご活用ください。

●設置施設Ⅱサンテパルクたはら、道の駅田原めつくんはうす、道の駅あかばねロコステーション

●利用料金Ⅱ100円/時間
●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2600人・事業所99カ所（7月末現在）

▼環境政策課
☎23局7401 FAX23局0180
HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー
環境けいじばん 25
ゴミゴモンとリサイクルレンジャー

皆さんの家庭から出る生活排水はどのようにしてきれいにされているのかご存知ですか？今回は、浄化槽についてご紹介します。

家庭から出る生活排水は、下水道に接続されている場合は浄化センターで、下水道に接続されていない場合は浄化槽できれいにされています。浄化槽の中にはたくさんのお微生物がいて、トイレや台所からの汚れを食べ、分解し汚れた水を処理しています。

この微生物は案外気難し屋で、これを活発に働かせるためには、微生物が働きやすい条件を整えてやらなければなりません。浄化槽が生き物だといわれるのもこのためです。



◇微生物のためにできること
次のことを心掛けると微生物の状態が良好に保たれます。

●使った油は、流しに流さずに、古新聞などに吸わせて可燃ごみに出す

●トイレトーパーは、適量を使う

●洗剤は必ず適量を計って使う

●排水は洗濯と食器洗いの時間をずらすなどして、一度に流さないようにする

●カビ取り剤を大量に使用しない

浄化槽で、汚れを取り除いてきれいになった水だけを放流し、汚れは汚泥となつて浄化槽の中に残ります。このため浄化槽は専門業者に委託し定期的な清掃を行う必要があります。浄化槽を正しく管理して、きれいな水環境を作っていきましょう。

▼環境政策課
☎23局3541 FAX23局0180

